

2. 男女の平等と役割について

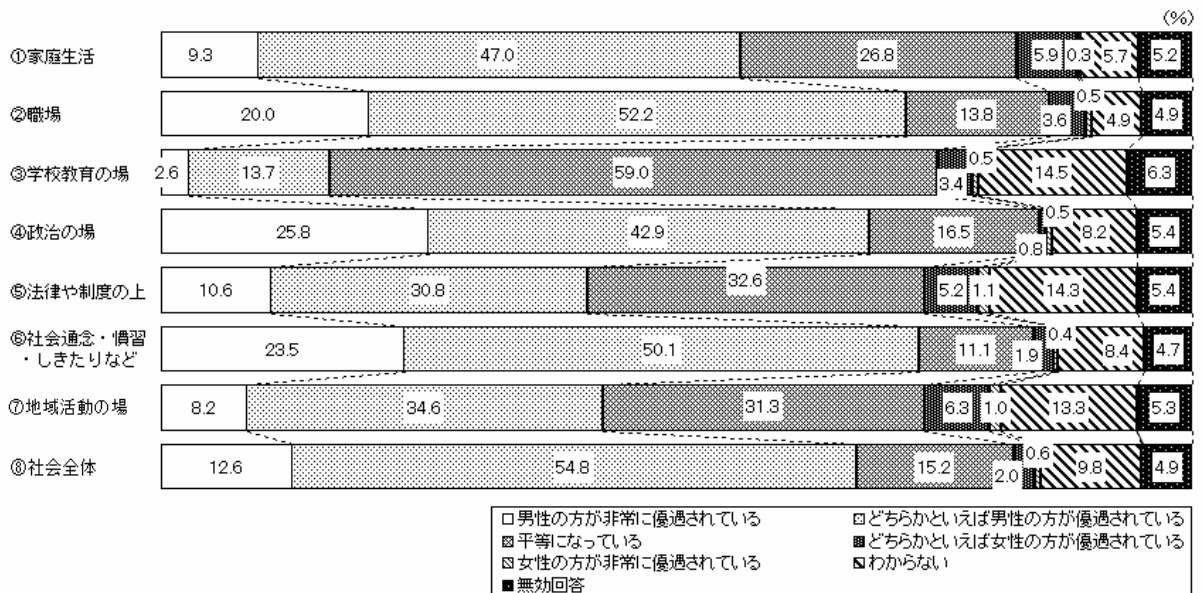
(1) 各分野の男女の地位の平等感

問5 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

【〇はそれぞれ1つずつ】

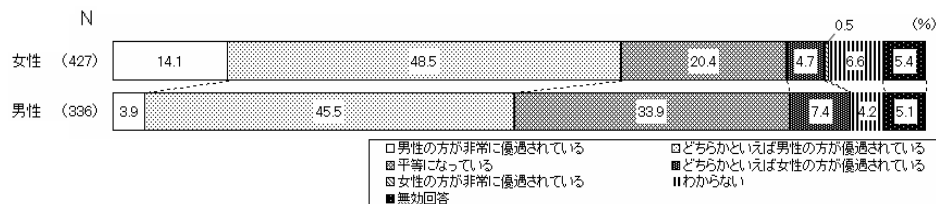
各分野の男女の地位の平等感について、「学校教育の場」で「平等になっている」(59.0%)が最も多くなったのを除くと、「社会通念・慣習・しきたりなど」(73.6%)、「職場」(72.2%)、「政治の場」(68.7%)、「社会全体」(67.4%)、「家庭生活」(56.3%)、「地域活動の場」(42.8%)、「法律や制度の上」(41.4%)で「男性優遇」(「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合)との回答が最も多くなっている。

N = 795

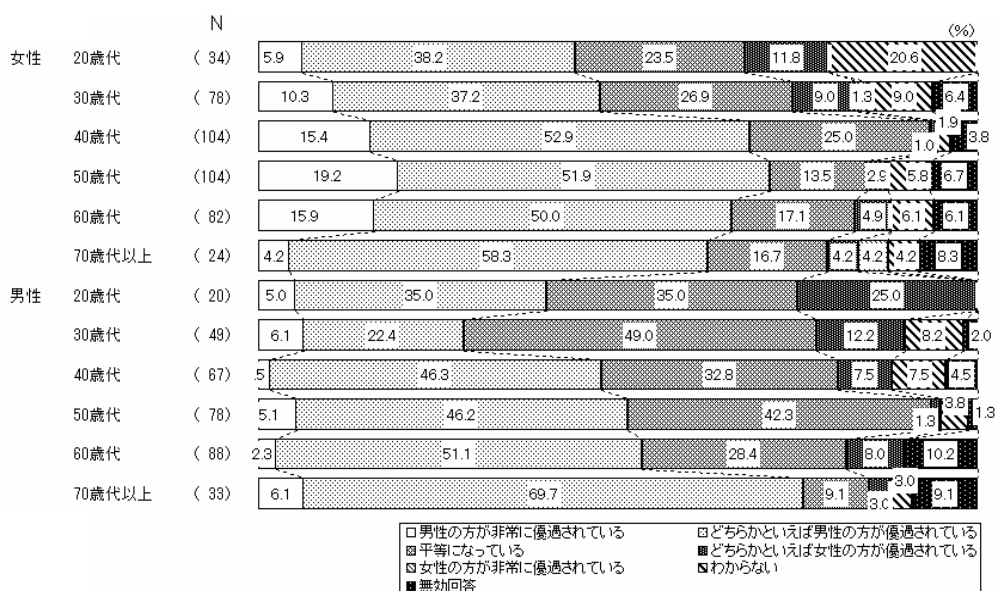


①家庭生活

性別にみると、女性では「男性優遇」が62.6%、「平等になっている」が20.4%に対し、男性では「男性優遇」が49.4%、「平等になっている」が33.9%と、女性の方が「男性優遇」の回答が多くなっている。

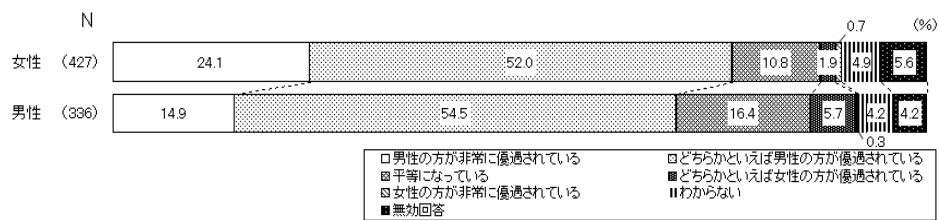


性別／年齢別にみると、特に40歳代以上の女性と70歳代以上男性で「男性優遇」の回答が多くなっている。

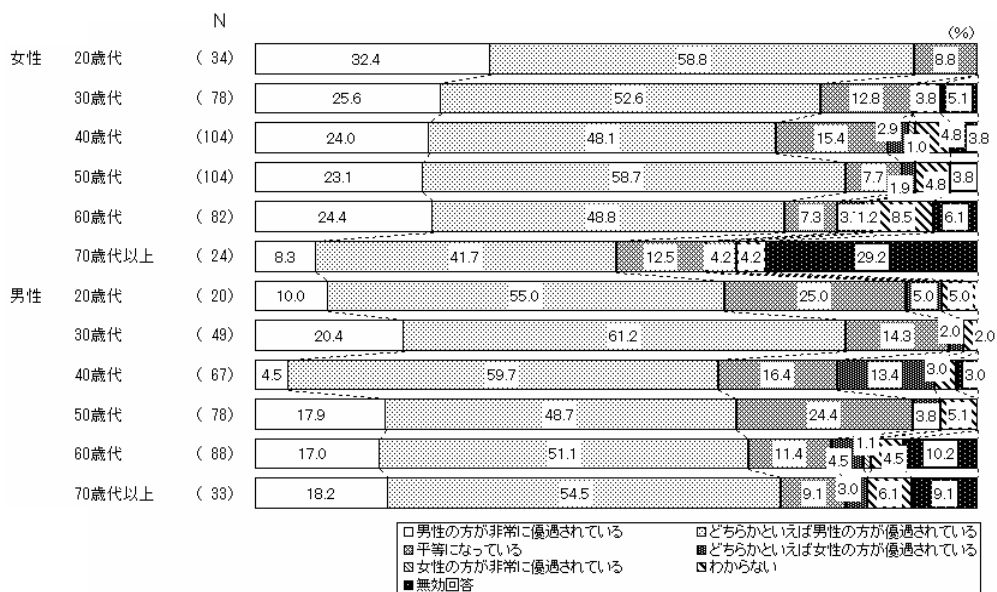


②職場

性別にみると、女性では「男性優遇」が76.1%、「平等になっている」が10.8%に対し、男性では「男性優遇」が69.4%、「平等になっている」が16.4%と、女性の方が「男性優遇」の回答が多くなっている。

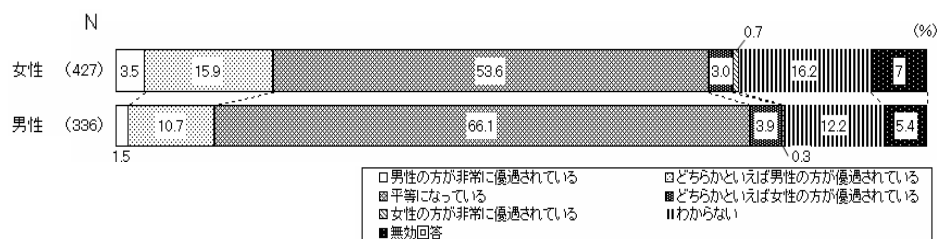


性別／年齢別にみると、特に20歳代女性と30歳代男性で「男性優遇」の回答が多くなっている。

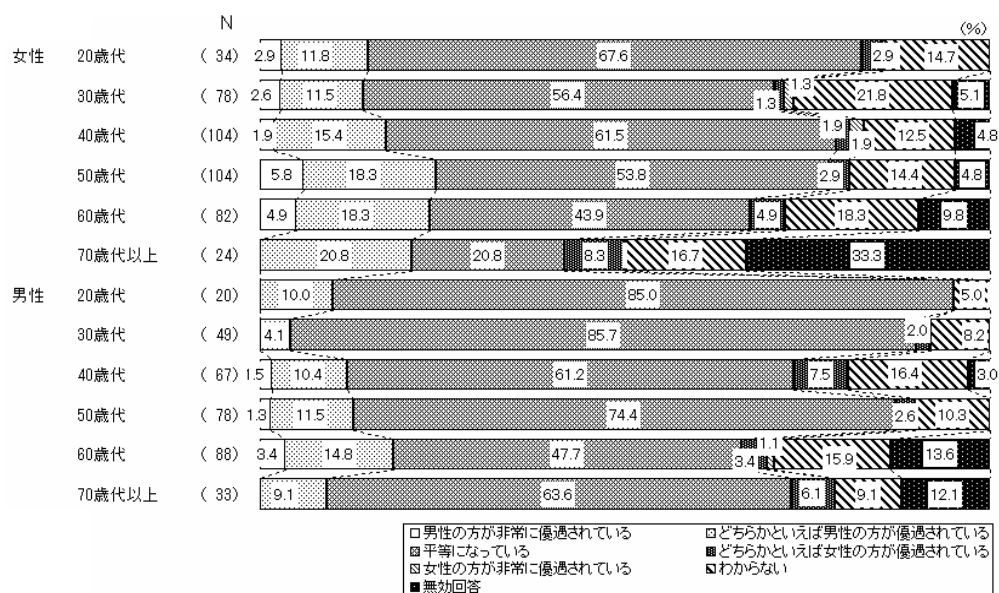


③学校教育の場

性別にみると、女性では「平等になっている」が53.6%、「男性優遇」が19.4%に対し、男性では「平等になっている」が66.1%、「男性優遇」が12.2%と、男性の方が「平等になっている」の回答が多くなっている。

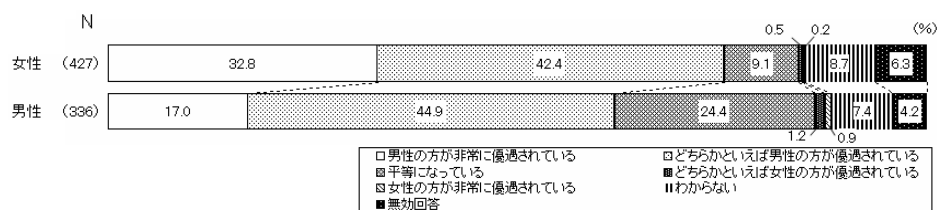


性別／年齢別にみると、70歳代以上女性で「平等になっている」が低くなっている。

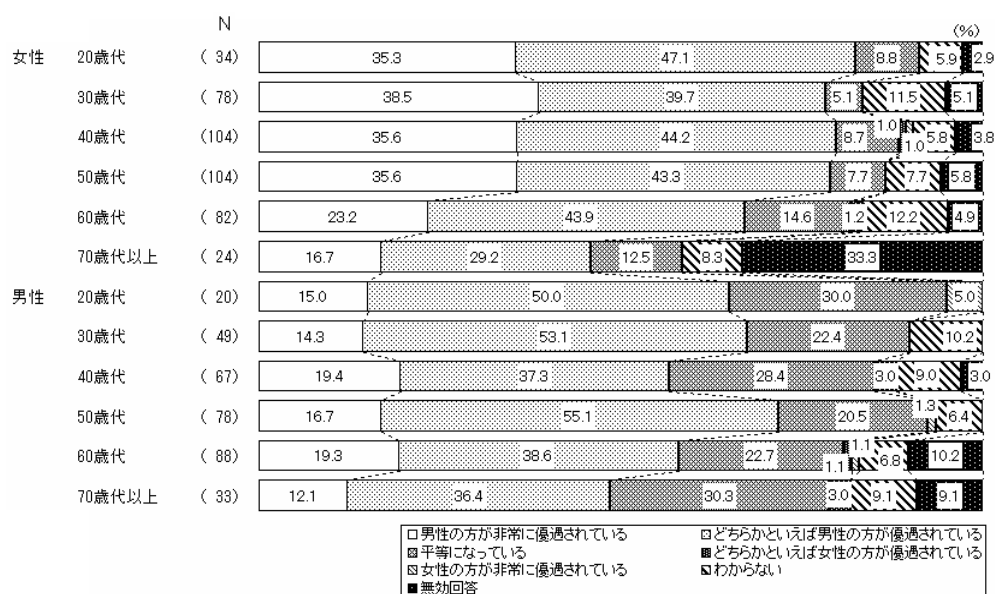


④政治の場

性別にみると、女性では「男性優遇」が75.2%、「平等になっている」が9.1%に対し、男性では「男性優遇」が61.9%、「平等になっている」が24.4%と、女性の方が「男性優遇」の回答が多くなっている。

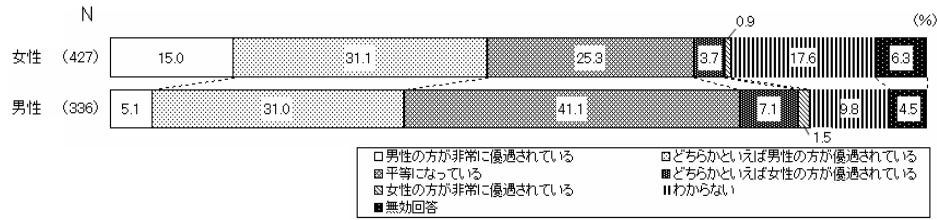


性別／年齢別にみると、女性では年齢が低いほど「男性優遇」の回答が多くなる傾向がみられる。

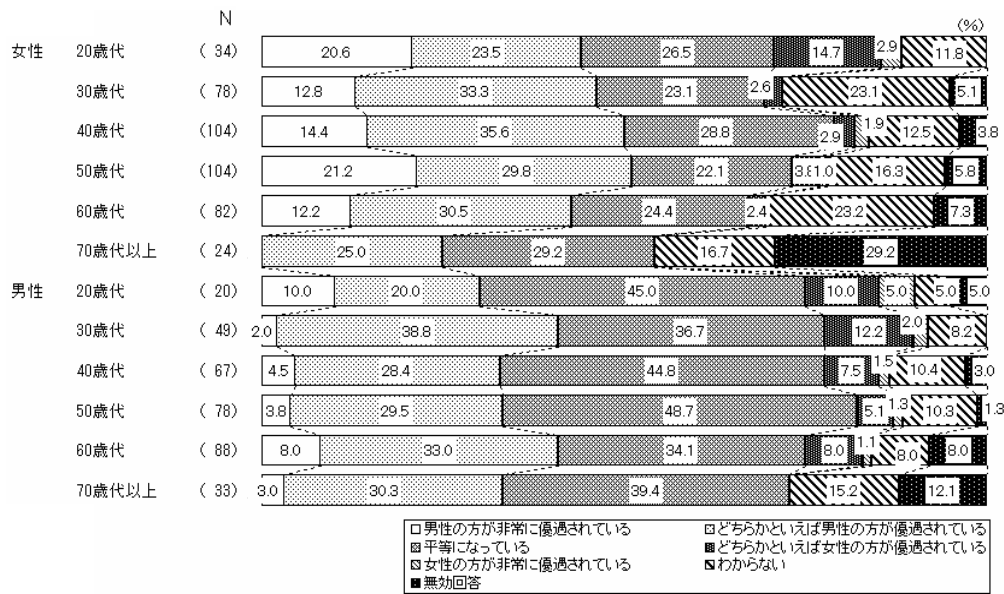


⑤法律や制度の上

性別にみると、女性では「男性優遇」が46.1%、「平等になっている」が25.3%に対し、男性では「男性優遇」が36.1%、「平等になっている」が41.1%と、女性では「男性優遇」の回答が多いのに対し、男性では「平等になっている」が多くなっている。

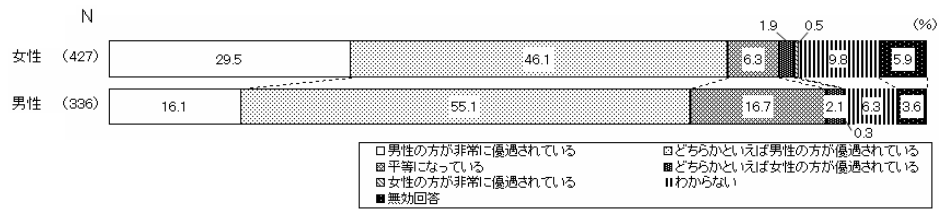


性別／年齢別にみると、40歳代、50歳代の女性で「男性優遇」の回答が高く、半数を超えている。

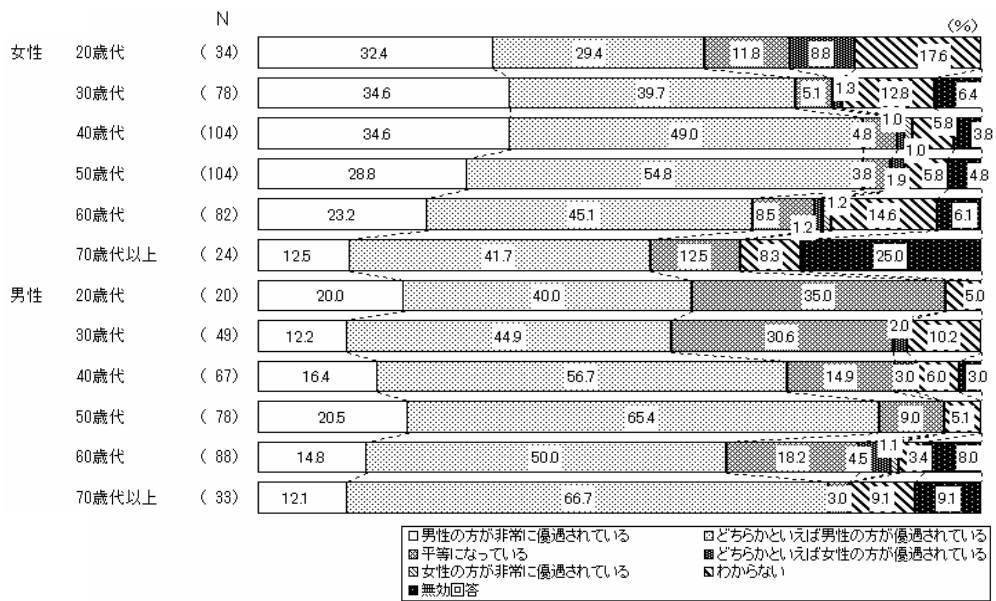


⑥社会通念・慣習・しきたりなど

性別にみると、女性では「男性優遇」が75.6%、「平等になっている」が6.3%に対し、男性では「男性優遇」が71.2%、「平等になっている」が16.7%と、女性の方が「男性優遇」の回答が多くなっている。

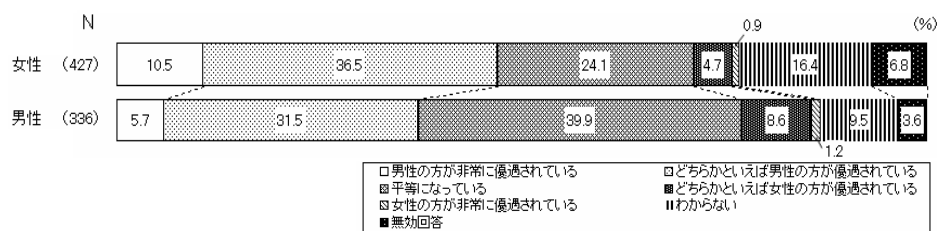


性別／年齢別にみると、40歳代、50歳代女性、50歳代男性で「男性優遇」の回答が多く、8割を超えている。

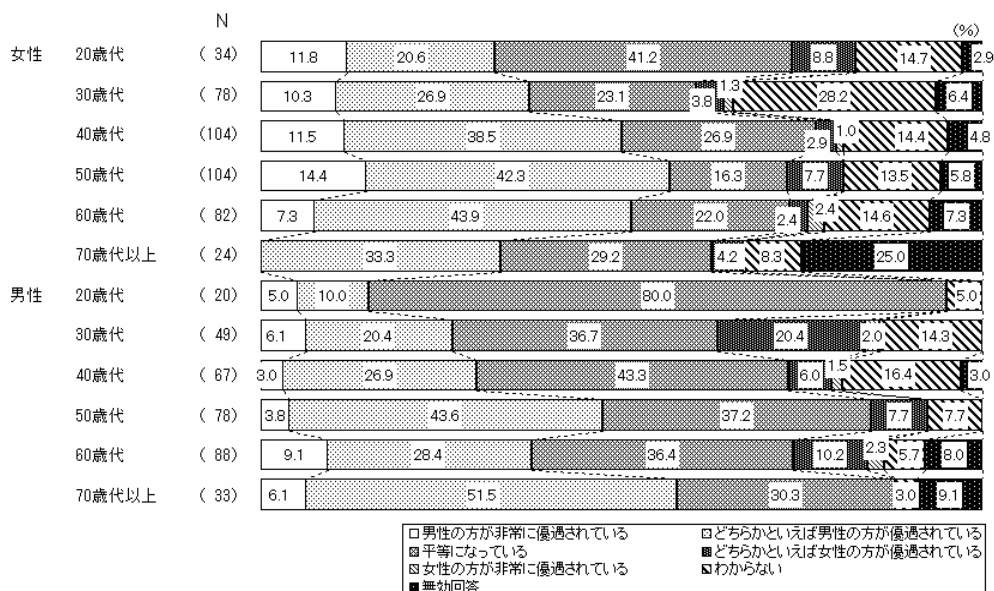


⑦地域活動の場

性別にみると、女性では「男性優遇」が47.0%、「平等になっている」が24.1%に対し、男性では「男性優遇」が37.2%、「平等になっている」が39.9%と、女性では「男性優遇」が多いのに対し、男性では「平等になっている」が多くなっている。

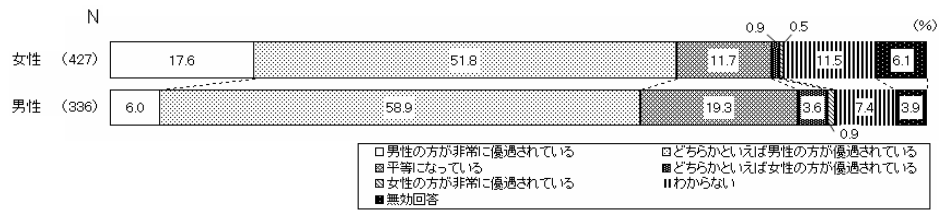


性別／年齢別にみると、40歳代～60歳代女性、70歳代以上男性で「男性優遇」の回答が多く、半数を超えている。

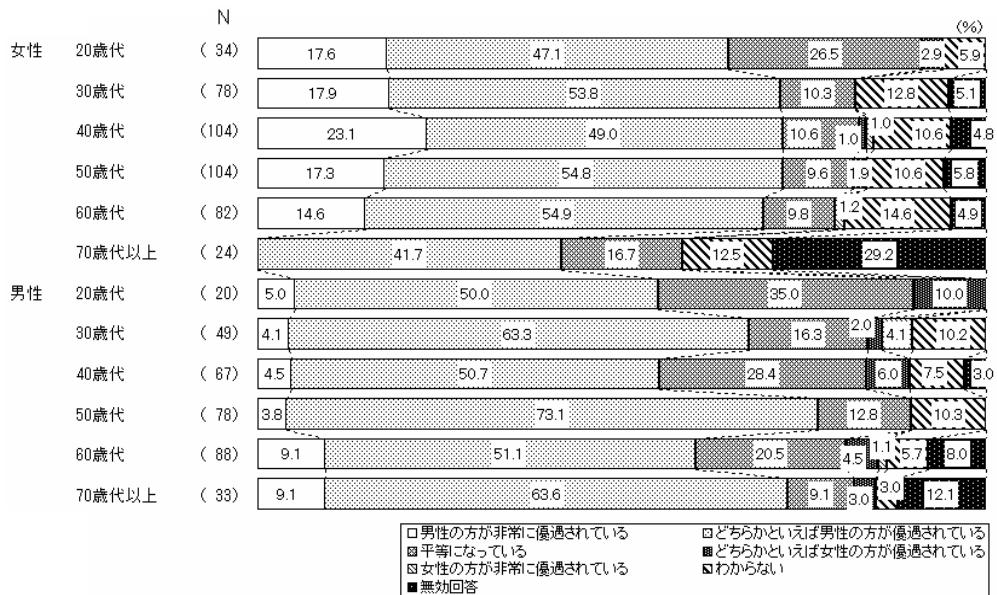


⑧社会全体

性別にみると、女性では「男性優遇」が69.4%、「平等になっている」が11.7%に対し、男性では「男性優遇」が64.9%、「平等になっている」が19.3%と、女性の方が「男性優遇」の回答が多くなっている。



性別／年齢別にみると、20歳代男女、40歳代男性で「平等になっている」が高くなっている。

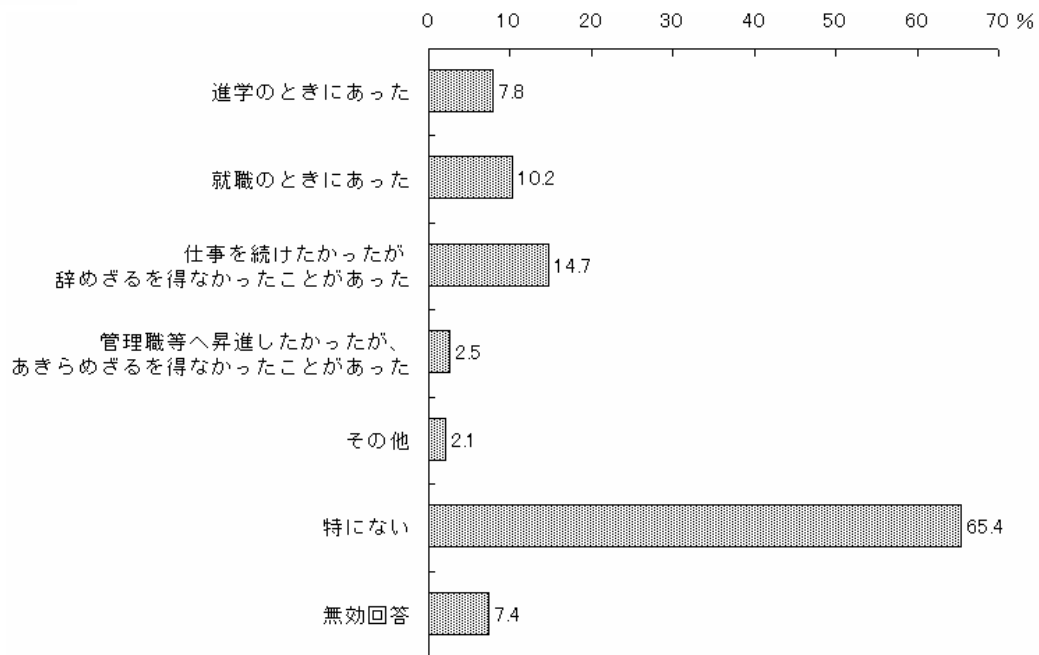


(2) 男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望と違う選択をせざるをえなかった経験について

問6 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」、「男子生徒は理系、女子生徒は文系を選ぶべき」といった、男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選択をせざるをえなかったことがありましたか。
【〇はいくつでも】

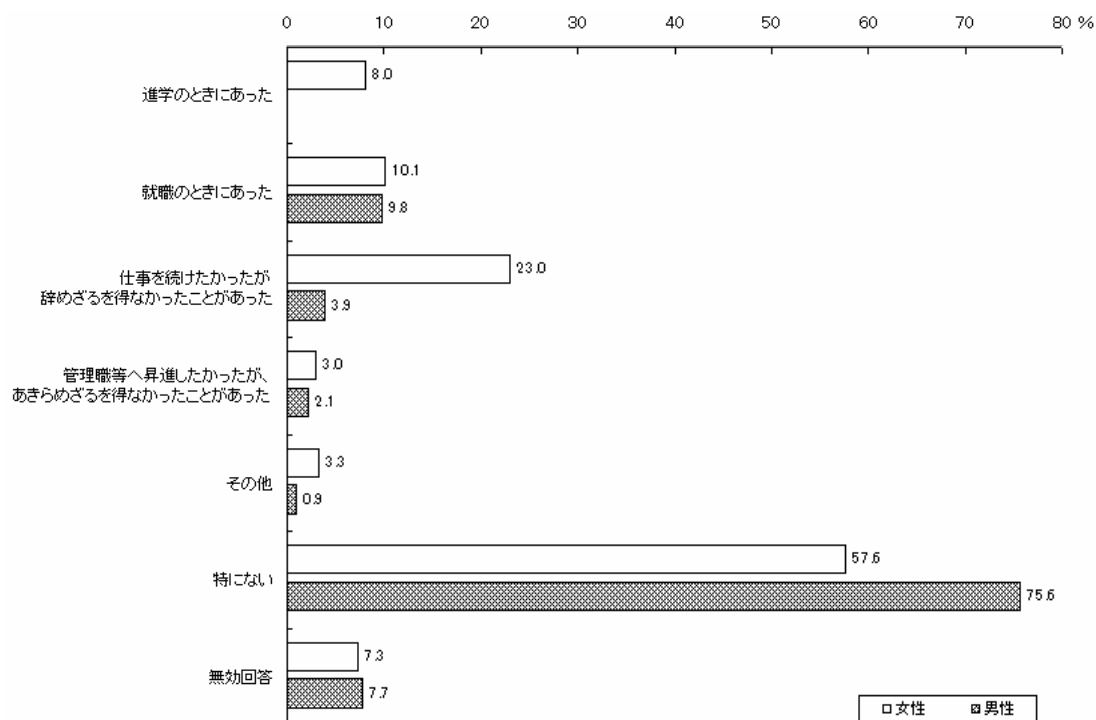
男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望と違う選択をせざるをえなかった経験について、「特にない」(65.4%)と回答した者が最も多く、次いで「仕事を続けたかったが辞めざるを得なかったことがあった」(14.7%)となった。

N = 795



性別にみると、「仕事を続けたかったが、辞めざるを得なかったことがあった」で、女性 23.0%、男性 3.9%と、男女で大きな差が見られた。

N = 427 (女性)
336 (男性)



性別／年齢別にみると、「進学の際にあった」という回答は、全体として男女とも年齢が高いほど高くなる傾向がみられる。「就職の際にあった」という回答は、男性では年齢が高いほど高くなる傾向がみられる。「仕事を続けたかったが辞めざるを得なかったことがあった」という回答は、30歳代以上の女性で高くなっている。

